

市民公開講座

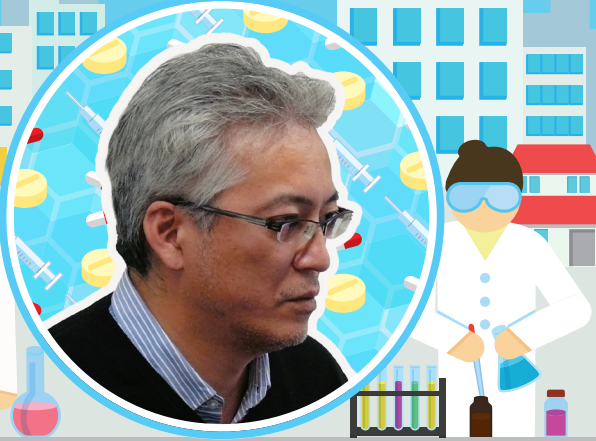
～驚きのかぐく～

2017年3月18日(土)13時25分～17時00分

慶應義塾大学 日吉キャンパス 第4校舎 独立館 地下2階DB203
(神奈川県横浜市港北区日吉4-1-1)

参加費無料 事前申込不要 会場に直接お越しください。

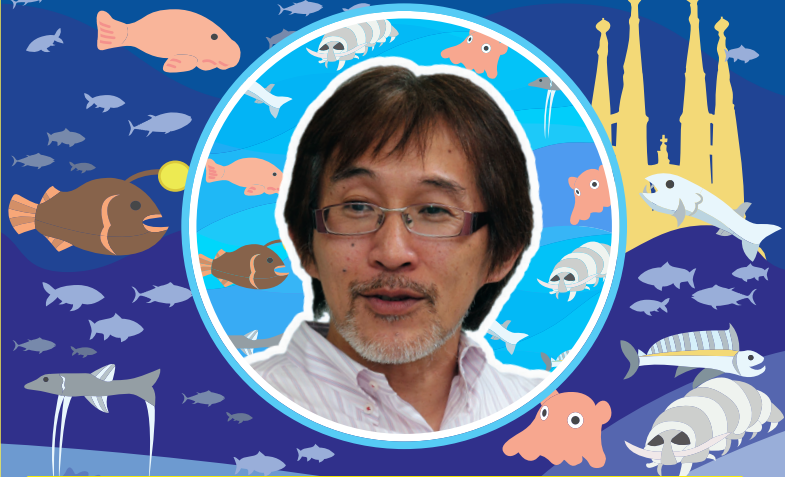
13:30-14:20 創薬の楽しさと難しさ



舩屋 圭一 (ヘプタドリーム株式会社・取締役研究開発部長)

皆さんが病気になったときにお医者さんから処方される、もしくは入院中に使われる様々な“薬”について、研究開発に携わる者はどのような思いで“薬”創りを行っているのか? 最先端の創薬研究開発はどこまで皆さんの健康の維持に貢献できるのか? 皆さんと一緒に考えてみたいと思います。

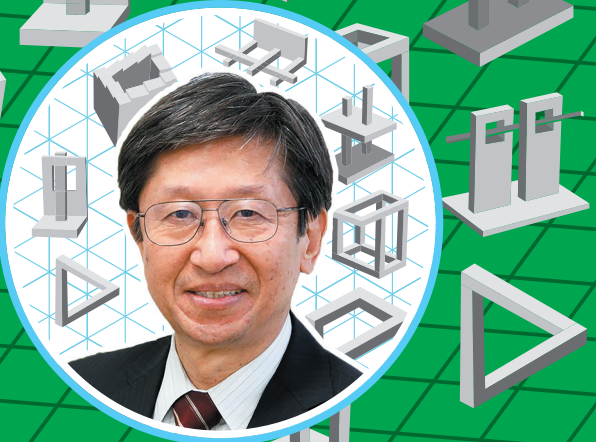
14:20-15:10 ガウディと深海と化学



出口 茂 (海洋研究開発機構・研究開発センター長)

「人が作り出したものは、すべて自然という名の偉大な本に書かれている」とは、サグラダ・ファミリアの設計で名高い建築家ガウディの言葉です。彼の言葉の通り、自然界は新たな技術開発のヒントに満ち溢れています。講演では地球上に残された最後のフロンティアと言われる深海の姿と、そこからヒントを得た化学についてお話します。

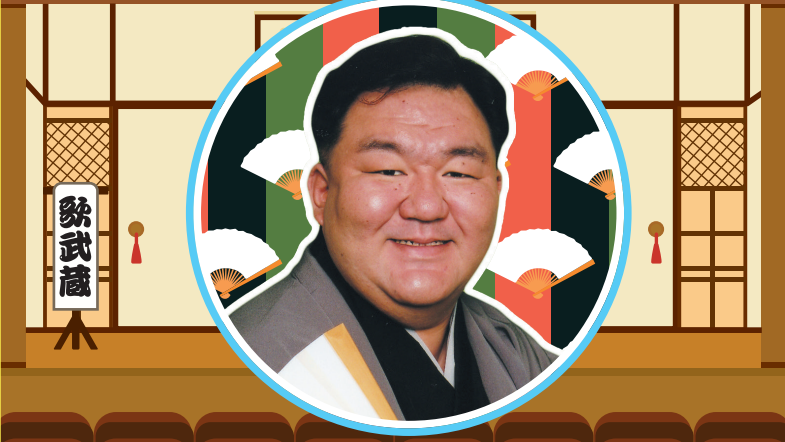
15:10-16:00 進化する不可能立体:
脳が作り出す不条理の世界



杉原 厚吉 (明治大学・特任教授)

不可能立体の絵と呼ばれるだまし絵があります。しかしその中には、名前に反して作れるものもあり、その立体を見ると、目の前に存在する立体なのに、そんな立体はあるはずがないという不条理な感覚にとらわれます。この不可能立体の進化をたどりながら、目で見るとはどういうことなのかを、一緒に考えていきたいと思います。

16:20-17:00 年会落語



三遊亭 歌武蔵 他

日本固有の伝統的な話芸、落語。はじめての人も(構えず)気楽にお越しください。想像の世界が知らず知らず広がり、笑い転げて最後はほっこりできること請け合いです。

主催 公益社団法人 日本化学会 第97春季年会 実行委員会

共催 慶應義塾大学 理工学部

URL http://www.csj.jp/nenkai/97haru/Public_Lecture/index.html

協力 横浜観光コンベンション・ビューロー

後援 神奈川県、横浜市、川崎市教育委員会

アクセス 日吉駅(東急東横線、東急目黒線)

横浜市営地下鉄グリーンライン) 徒歩3分